

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	転移性肺腫瘍に対する肺切除症例データベース作成のための多施設共同コホート研究		
1. 研究の目的と方法	肺は腫瘍の転移を起こしやすい臓器の一つです。転移性肺腫瘍に対して手術を行うときに、どういう特徴のある患者さんに治療のメリットが有るか、またどのような手術を行うのが良いか、といった詳細な点までは明らかになっていないのが現状です。これから転移性肺腫瘍の標準治療の確立のための基礎データを構築することで、より良い治療方法を検討します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2030年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	研究機関： <input checked="" type="checkbox"/> 附属病院 <input type="checkbox"/> 葛飾医療センター <input type="checkbox"/> 第三病院 <input type="checkbox"/> 柏病院 対象となる方：転移性肺腫瘍に対して患者さんで、上記研究機関で承認日から2040年12月31日の間に肺切除術を受けられた方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	性別、原発臓器、組織型、病期、原発臓器に対する治療内容（手術年月日、術式、根治度、手術以外の治療開始日、治療内容）、肺転移術前の再発・転移の有無および治療内容、肺転移の発見日、発見動機、個数、腫瘍マーカー値、肺転移に対する治療内容、最終生存年月日、転帰、初回肺術後再発の有無、死因	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 外科学講座
		氏名	大塚 崇
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学 外科学講座 柴崎隆正	
	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	<研究代表機関> 帝京大学 呼吸器外科 坂尾幸則 <共同研究機関> がん研有明病院 佐野 武 慶應義塾大学医学部 北川雄光	

	<p>東京都立駒込病院 神澤輝実 埼玉医科大学総合医療センター 堤 晴彦 千葉県がんセンター 山口武人 千葉大学大学院医学研究院 山本修一 東京医科大学 三木 保 東京大学医学部 濑戸康之 栃木県立がんセンター 菱沼正一 獨協医科大学 平田幸一 浜松医科大学 金山尚裕 結核予防会 複十字病院 大田 健 防衛医科大学校 浅野友彦 杏林大学医学部 市村正一 東邦大学医学部 瓜田純久 独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 大島久二 新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央綜合病院 富所 隆 山形県立中央病院 武田弘明 君津中央病院 海保 隆 日本海総合病院 島貫隆夫 帝京大学医学部 坂本哲也 大阪大学大学院医学系研究科 木村 正 愛知県がんセンター病院 丹羽康正 函館五稜郭病院 中田智明</p>
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	<p>この研究で収集・取得された情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除したうえで、以下の機関に、提供致します。</p> <p>提供先の機関：帝京大学医学部外科学講座 主任教授 川村雅文</p> <p>提供方法：データベースへの入力</p> <p>情報の利用または提供予定開始日：2020年10月頃～</p>
【問い合わせ先】	<p>東京慈恵会医科大学 外科学講座</p> <p>研究代表者： 大塚 崇</p> <p>電話： 03-3433-1111 （内線：3401）</p> <p>（対応時間：平日 9:00 ~ 17:00）</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。